

No.  
**23**

令和4年8月発行

# 新潟市南区 農業振興公社だより

編集・発行

公益社団法人 新潟市南区農業振興公社

〒950-1292 新潟市南区白根1235 TEL 372-5024 FAX 374-0780

HP:<http://niigata-agri.or.jp>

E-mail:[kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp](mailto:kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp)



## 令和4年度予算の概要

事業総額	99,688千円	4. 産地活性化総合対策事業	100千円
1. 総合振興事業	650千円	農作業パート事業・暗渠敷設事業	
公社だよりの発行・ホームページの管理		5. 資源循環事業	4,805千円
2. 農用地利用対策事業	91,072千円	堆肥散布業務委託	
農用地利用集積円滑化事業管理費		6. 果樹新規担い手等支援事業	1,148千円
農地賃借料		7. 果樹事業費補助金交付事業	700千円
3. 農業振興対策事業	1,213千円	果樹防風網の更新助成	
主要果樹生育調査圃設置・水稻防除対策			
販売促進活動・各種団体、協議会への活動			
助成			

# 主要事業のご紹介

## 01

CORE BUSINESS ONE

### 農用地利用対策事業

農用地を貸したい農家（出し手）から、その農地を借り受けて農業経営の規模拡大や効率化を図る担い手農家（受け手）への貸付けのお手伝いをします。また、適正な賃貸借料を設定します。農地の賃貸借については、法改正により令和2年度から南区公社を通しての新規契約はできません。（継続中の契約は期間満了まで）また、利用権設定の方法は下記のとおり二種類ありますので参考にして下さい。

利用権設定の種類	契約	賃貸借料金	賃貸借料金の支払時期		手数料	通知	補助金
			耕作者	所有者			
農業委員会通し	所有者 ⇄ 耕作者	両者の合意 (金納・物納)	両者の合意により決定		0	契約期間終了前	なし
農地中間管理機構通し	所有者 ⇄ 機構 ⇄ 耕作者	両者の合意	10月31日 11月30日	11月10日 12月10日	地代の0.5% (出し手・受け手とも)	地代精算前(毎年) 契約期間終了前	※経営転換協力金

①契約期間は基本10年間（両者の合意により決定）

②土地改良費の負担先は両者の合意により決定

#### ※経営転換協力金

離農・農業部門の減少により、所有する全農地（10a未満の自作地を除く）を10年以上機構に貸し付ける農業者に対して R4~5 : 1.0万円/10a（上限25万円/戸）地域集積協力金と一体的に取り組む場合のみ対象  
詳しくは当公社までお問い合わせください。

## 〈今後の地域農業・農地について 考えてみませんか〉

ご相談や説明会等のご要望等がありましたら、  
南区・公社・最寄りのJAにお問い合わせください。



## 02

CORE BUSINESS TWO

### 産地活性化総合対策事業

#### 農作業パート事業

本事業は農家の高齢化や担い手不足に対応して、当社が農作業パートを農家とマッチングをし、農家の作業を手伝うことにより労力軽減を図ります。

具体的な取組み（R3実績）

- |                                      |         |
|--------------------------------------|---------|
| ①農作業委託農家の募集                          | 57戸     |
| ②農作業パートの募集                           | 35人     |
| ③作業料金の徴収、支払                          | 9,408千円 |
| ④農作業パートの果樹作業技術研修の実施及び<br>農作業全般のマッチング |         |

※農作業パートを利用される方は労災保険の加入が必須です。保険料は雇用主である農家の方から負担いただきます。  
詳しくは当公社へお問い合わせください。





# 03

## CORE BUSINESS THREE

### 資源循環事業

当公社が農機具リースにより導入したマニアスプレッダ（堆肥散布機械）をキープクリーン（白根地区）とAOBA（味方地区）へ散布を委託し、下記の事業をすすめています。

1. 健康な「土づくり」による環境保全型農業の推進
2. 市民に対する安全・安心な「食」の提供
3. 農業者と消費者の互惠による地域づくり
4. 付加価値を高めた農産物のブランド化と生産拡大

#### R3実績

白根地区（豚糞堆肥）	204.0t	散布面積	25.3ha
味方地区（牛糞堆肥）	1,288.0t	散布面積	128.8ha
合計	1,492.0t		154.1ha



# 04

## CORE BUSINESS FOUR

### 果樹新規担い手等支援事業

南区の果樹生産は生産者の高齢化と後継者不足により、栽培面積の減少と廃園の発生が問題になっています。その対策として南区果樹担い手協議会を立ち上げ、課題の解決に向けて下記の取り組みをすすめています。

- ①里親制度を導入し、新規就農に必要な栽培技術・経営管理・農地のあっせん・地域の農業者への紹介等の支援をおこなう。
- ②新規就農希望者への家賃補助
- ③インターネットにおけるリスティング広告の掲載

#### 果樹事業費補助金交付事業（新規事業）

南区内在住の果樹農家を対象に、樹園地の防風ネットを更新するための費用の一部を補助する。（新規の設置については、県単・市単の補助事業を活用いただく。）

**対象経費：**防風ネット本体の購入費用

**補助金額：**① 公社特別会員は事業費の1/2以内（税抜き）

② 特別会員以外は事業費の1/4以内（税抜き）

**上限事業費：**10万円以下（1万円以上）

**申請期間：**令和5年1月31日まで

**申請書類：**申請書・実績報告書・補助金入金通帳の写し

**添付書類：**領収書・請求書・JAの購買伝票のいずれか

**提出先：**南区公社または最寄りのJAアグリセンター

なお、詳細につきましては後日、案内文書を配布する予定です。

## 新規就農者紹介

### オールマイティーを 目指して

きむら ひより  
木村 陽和 さん 21歳



長岡市出身の木村陽和さんは、実家は非農家ですが屋外での仕事がしたいとの思いから、新潟県農業大学校で果樹を専攻し、6次産業化に憧れて(有)白根グレープガーデンに就業されました。

受付や商品の発送、果樹の防除・摘果・袋掛けなど日々奮闘しています。屋外での作業が自分に向いており、ぶどうの摘粒など多忙だ

がやりがいを感じているとのこと。

今後の抱負として、多様な品目があるなかで受付や農作業など、オールマイティーを目指したいと意気込みを語られました。

これからも沢山の経験を積み、職場を含め地域の中心的な担い手になれるよう皆さんで応援していきましょう。

## 令和4年度 役員の紹介

役職名	氏名	所属等
理事長	渡部 修一	新潟かがやき農協代表理事理事長
副理事長	五十嵐 雅樹	新潟市南区長
理事	帯瀬 和幸	新潟市農業委員会南区部会長
理事	塩原 信子	新潟市農業委員会農業委員
理事	小嶋 洋朗	新潟県農業共済組合理事
理事	丸山 久夫	白根郷土地改良区理事長
理事	櫻井 真	しろね野菜連絡協議会長

役職名	氏名	所属等
理事	杉柳 辰夫	農事組合法人高井興野農場代表理事
理事	樋口 和典	農事組合法人高井生産組合理事
理事	渡邊 行雄	指導農業士会会長
理事	丸山 和政	しろね果樹部会長
理事	難波 靖	しろね稲作部会長
監事	山崎 勝喜	新潟かがやき農協常勤監事
監事	野口 聡	有限会社味方ふぁーむ代表

## 職員の紹介

南区地域の活性化と地域農業の持続的発展のため、職員一同力を合わせて尽力いたしますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 職員名簿

職名	氏名	所属
事務局 局長	本間 芳則	JA新潟かがやき(公社常勤)
事務局 次長	鈴木 基	新潟市南区産業振興課(公社兼務)
事務局 員	袖山 潔志	新潟市南区産業振興課(公社常勤)
事務局 員	坂井 真紀	JA新潟かがやき(公社常勤)



表紙の写真は、3年ぶりに開催された「白根大凧合戦」の様子です。新型コロナウイルス感染対策のため入場者数の制限やイベントも縮小され、凧の揚げ手

もマスクを着用しての合戦となりました。新型コロナが早期に終息し、以前のように平穏な日常生活が送れることを願ってやみません。